

各学会事務局 御中

'08.10.27

時下ますますご清祥の段お慶び申し上げます。

当協会は、昭和47年に台湾との国交が断絶した後、外務省・経済産業省の共管の団体として設立され、爾来、台湾との実務関係の窓口機関として、邦人保護、文化交流、貿易経済交流、技術交流等の各種事業を行っております。

さて、当協会では、日本と台湾との間における科学技術分野（※）における共同研究開発や人材育成の一助として、同封の資料に記載した各種の経費助成事業を実施しており、現在、平成21年度事業応募者を募集しております。（12月25日締め切り）

つきましては、ご多忙中大変恐縮ですが、貴学会の会員の方々に対し、本件募集につき広くご紹介して頂きたい、何卒ご協力の程お願い申し上げます。

（※）主に先端技術（IT分野、生命科学、新素材等）、環境・エネルギー、医療・福祉及び防災関係分野が対象です。

平成20年10月  
財団法人 交流協会  
技術交流部

# 日台科学技術交流の各種事業ご案内

(財)交流協会では、科学技術分野(※)につき、日本と台湾の共同研究開発や人材育成の一助として次の事業を実施しております。

ご興味のある方は当協会ホームページ(<http://www.koryu.or.jp>)の「おしらせ」で詳細をご覧ください。ただか、下の連絡先あてにご照会ください。

(※)主に先端技術(IT分野、生命科学、新素材等)、環境・エネルギー、医療・福祉、防災

## I. 若手研究者交流

### 1. 短期グループ派遣(教官と院生・グループ)

日本の大学院の指導教官1名とその学生(大学院生)からなる3, 4名のグループが、研究活動のために1週間台湾を訪問する際の経費を支給する。

(但し、全員日本国籍所有者であること。)(台湾人グループの招聘事業もあります。)

### 2. 長期派遣(院生・個人)

日本の大学院で研究活動を行っている大学院生で、台湾の大学や公的研究機関において2ヶ月間研究活動を行う際の経費を支給する。

(但し、日本国籍所有者であること。)(台湾人学生の招聘事業もあります。)

## II. セミナー・シンポジウム

### 1. 日本開催

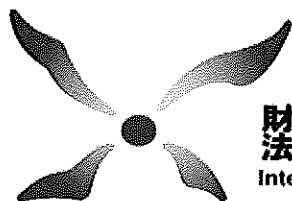
日本国内において、台湾の学者・研究者との合同セミナーまたはシンポジウムを開催する研究団体に開催経費等を支給する。

### 2. 台湾開催

台湾で開催されるセミナーまたはシンポジウムに参加する日本国内在住の研究者グループに渡航費と滞在費を支給する。(但し、日本国籍所有者であること。)

## III. 共同研究

台湾の研究機関等と共同研究を行う大学等研究機関に研究経費を支給する。



日本と台湾との架け橋

**日台交流協会**  
Interchange Association, Japan (IAJ)

技術交流部 電話:(03)5573-2600 ex22,23

〒106-0032 東京都港区六本木 3-16-33 青葉六本木ビル7F